

ご挨拶

第50記念号！

杉の実倶楽部 催し物 予定 (平成23年9月-10月)

昔話である。
高校受験で願書なるものを中学から持参することになった。同じ学校からまとまって高校へ持って行った。

初日だったので受付では行列ができていた。前から順番に受け付けられ番号をもらって順次帰って行った。徐々に自分の番が近づいてくるのが感じられた。前の男がそわそわしている。私の方を見ながらなにか言いたそうである。おそらく同じ中学から行ったので誰か知っているはずだが今は全然覚えてはいない。

「オレの番号は49になりそうや。くしくじるゝなんて縁起でもないし、4と9なんて嫌やわ。」

「そんなこと言うたって、誰か49番になるやん。嫌やったら替わったるわ。」

そんな番号で受験の結果が左右されるとは思えなかった。滑るときは滑るし、通るときは通る。番号のせいではないだろう。

結局49番の受験番号で合格できた。受験票は今も大事にアルバムに張り付けられている。交替した50番の同窓生が合格したか確認していないが、不合格者は少なかったのでおそらく彼も合格したことだろう。

「杉の実だより」49号を無事通過して今回50号の節目を迎えることができた。(杉浦勝昭)

9月 7日 (水) 16:00-20:00

杉の実囲碁の会
古家裕子インストラクター指導基

8日 (木) 18:00-20:00

杉の実ネクスト交流会
30-40代の若手・中堅異業種交流会
士業の参加も多い

29日 (金) 13:00-15:00

杉の実サロン
「楽しく学ぶ中国歴史と古典」
-楊貴妃と四大美女-
話者 昌平塾主宰 内田昌平氏

10月 5日 (水) 16:00-20:00

杉の実囲碁の会
(毎月開催)

11日 (火) 18:00-20:00

HIT不動産情報交換会
東成・生野・天王寺の不動産業者
+ 大手・阿倍野・住之江

13日 (木) 17:00-19:00

杉の実異業種交遊会
「気楽で、気軽に」
1-2社から話題提供

○ 詳しくは弊社までお問い合わせください
06-6976-6194

日本の中小企業とマネージメントの研修

5月2日から、杉浦実業での研修が始まりました。

研修の目的は日本の企業の働き方を勉強することでしたが、見習いが目的より多かったです。日本の特性をよく見ましたが、中小企業についてもよく習いました。

確かに、杉浦実業は日本企業として特性が多いです。毎日の会社の働き方とマネージメントは日本風だと思います。

たとえば、毎日仕事が始まる前に、小さい打ち合わせをします。連絡とか報告がある人はこの小さいミーティングで教えてくれます。それはフランスにないと思います。

また、プロモーションするのに、ネットワーキングが必要なことです。フランスにもネットワーキングがありますが、お中元という伝統がありません。というのは、ネットワークの中にある関係の仕方が違うと分かりました。それはすごく面白かったです。

しかし、日本の特性がいくつあるのに、フランスと共通問題があると分かりました。

会社のプロモーションはその一つの例です。例えば、HPを作成した後、管理と更新をしなければなりません、杉浦実業にHPの専門家がいません。社員が他の仕事があるので、時間が見つかりにくいです。それはフランスと一緒にしたいと思います。

確かに、研修のおかげで日本の企業についてよく習いました。分かってきたのは、日本にある企業は共通の特性がありますが、社長と社員の性格が会社に影響しているので、企業はそれぞれ特別です。

研修のおかげで、中小企業に興味があると分かったので、将来に中小企業のために働きたいです。
(ぶらぶら人)



(原文のママ)



全中出場

「杉の実だより」50回の記念する号に併せて我が家においても、めでたい・うれしい出来事がありました。

柔道をやっている中学3年の長女が全国中学総体に出場することになりました。部員は女子5人なのですが、その内2人が出場することになりました。当初は3年生3人で52、57、63の3階級を制覇して全国に行こうと頑張っていたのですが、57kg級だけ決勝で負けてしまいました。有力選手がある学校に集中するなか、同期3人が孤軍奮闘して男子に混じって必死に練習し、なんとか3人で一緒に出してやりたかったのに非常に残念です。全国大会は2人で行くことになりましたが、近畿大会は3人で出ることができるので、3人一緒の最後の試合に悔いのないよう精一杯力を出しきってほしいと思います。苦しい減量を克服して最後の大会で結果を残した娘達におめでとうというとともに、よく頑張ったと褒めてあげたいと思います。

この冊子がお手元に届くころには、近畿大会の結果、全国大会の結果が出てくると思いますが、最後の晴れ舞台を思う存分楽しんで、悔いの残らない大会であることを祈ってます。

(ならづけ)



焼き立てパン

パン好きの妻からホームベーカリーの購入の相談を受けたので、買うことを決断した。GOPANが欲しかったが手が届かなかった。いろいろ調べ予算内で選んだ商品は、当時メニューが豊富だったパナソニックSD-BMS102-Nホームベーカリー1斤タイプ。

休日の朝に焼き立てパンが食べたくて、まず基本の食パンを焼いてみた。配合通りの材料を入れて9時にタイマーを設定し、スイッチを押した。

ワクワクしながら眠りに就いた。すると、朝5時に突然「ゴトゴト」の音で私はびっくりして目が覚めた。ホームベーカリーが動き出し、最初の練りの工程が始まったのだ。そんなこともつゆ知らず、妻は横でスヤスヤ寝ていた。

9時に「ピー」と音が鳴り、目が覚めると焼き立てパンの良い香りがしてドキドキしながら妻が蓋を開けた。そのとき、私は寝ていたので1回目の感動は知らない。

少し熱を冷まして、6枚に切って出来たてのパンをトースターでも焼かずバターも付けずに食べた。パン屋さんで作るようなパンが、家庭で簡単に出来る事に感動して、思わず二人で1斤食べてしまった。ふっくらしっとりしていて、とても美味しい☆

他に、ご飯の味と香りがそのまま残る「ごはん食パン」や耳がカリカリで少し固い「フランス食パン」やバター風味たっぷりでしっとり感のある「デニッシュ風食パン」を焼いた！最近の一押しは、しっとりでモチモチ抜群の「ソフト食パン」です。

好きな時間に焼き立てのパン等が食べられるし、操作が簡単なので、今後も新しいパン等にチャレンジしていこうかな。

(ノッポくん)



リプラスしました (リプラスEK)

昭和58年築の建物(倉庫・工場)のプランを考えて建物賃貸借契約をしてから改装工事を行いました。貸主と借主のイメージを考えて改装を行いました。建物が古いので工事を行うと色々なトラブルも出て来ます。建築の現場監督や職人さん達と話をし解決して行き、貸主や借主にも説明して行きながら工事を進めて行きましたので本当に苦労をしました。

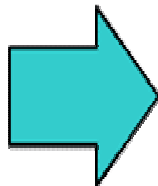
本来であれば、建物の改装工事を行い綺麗にしてから、お客様を案内して契約が出来るのが一番良いと思うのですが、貸主の改装工事費を考えるとお客様が決まっていらないのに工事を進める事も出来ないのが現実です。

古い建物でも良い建物はあります。建物の個性を出せば建物は生きていくと思います。

建物をリフレッシュして建物の価値を上げる。それが私の考える「リプラス」です。

最後に、借主様の「あの建物が綺麗になって本当に嬉しい」と笑顔で言っていた事が、私も嬉しくて糧になっています。

(ヨッシー)



北新地 菊の屋

私は5年間を九州で過ごしました。そんな私が、本当に懐かしい味と太鼓判を押せるお店、それが北新地にある「菊の屋」さんです。

大阪でここまで本格的な宮崎郷土料理を出してくれるお店に出会ったのは初めてです！コースもリーズナブルなお値段（3,800円）でお腹いっぱい、大満足！

中でもお勧めなのが「チキン南蛮」、チキン南蛮は本場宮崎のあの味！やわらかくて、適度な酸味で、上にかかっているタルタルソースも文句なし！完璧です！このチキン南蛮を出しているお店に大阪で出会えるとは感激でした！

私は芋焼酎が飲めないのですが、珍しい芋焼酎もたくさんそろえていて、芋焼酎好きな方にはたまらんお店だと思います。

宮崎県は、鳥インフルエンザや口蹄疫、新燃岳の噴火など色々な災難、自然災害に襲われて大変な状態の中から、少しずつ復活しようとしているとお聞きしました。そんな宮崎県を皆様知っていただける身近なお店「菊の屋」さん、是非一度おいしい宮崎郷土料理を試してみてください！



お店情報
 大阪市北区曾根崎新地
 1-9-10
 GOTS 永楽町ビル
 1号館 2F
 電話：06-6343-1185
 宮崎郷土料理 菊ノ屋
 (しんち)

八尾・キーワード

「杉の実だより」にデビューしたのは、確か2005年9-10月号・そう創刊20号だったと思う。あれから6年が経過した。早いものである。最初はやはり躊躇があった。何を書けばいいのか。どのように書けばいいのか・・・継続は力なり！へたなりにいなんと投稿できるようになった。心臓は飛び出さなくなった。

ところで、私が八尾に移り住むようになって22年が経過した。こちらであつという間だった。がしかし、八尾の街についての知識は停滞していた。決まった道の行きかえり・・・

最近、仕事柄八尾の街を走り回るようになった。地理的にはよく結びつくようになった。

そうしたら、いろいろなものが見えてきた、結びついてきた。また、よく考えてみたら不思議に思えてくる。大阪府の玄関大阪駅（JR・旧国鉄発想）から1時間という都会？からの近い距離ながら近代的大工業・中小企業（工業・商業）そして農業の混在。

ある会合で八尾のキーワードは何？という話になった。そのキーワードを手掛かりにしたダイアログの一部を紹介しましょう。

「大阪が都会化する中で本来の大阪らしいイメージが残っているのが八尾」「八尾のおばちゃん本来の大阪のおばちゃんのイメージ」「農業・工業・空港等いろいろある、何でもありどっちでもいける中途半端さ」「地元の人が八尾が好きという満足感。自然体でいられる街」等々たくさん出ました。

とにかく、百聞は一見にしかず！ 自分の目でお確かめください。（チョビ）

タツミ第六ハイツ(生野区北巽)

ドアと郵便箱改装工事終了！



工事中はご迷惑をおかけいたしました、工事は無事終了いたしました！

タツミ第六ハイツのエントランス改装工事が終わり、使いやすく、セキュリティも改善、郵便BOXは外側から入れ、内側で取れる便利な方式になりました。

ちょっと重かったドアは女性でも不自由なく扱える軽量のものに仕様を変更して、「やさしい」マンションに変身しました。

まだ空室もありますので、綺麗になったエントランスとお部屋をぜひ一度ご覧ください。



地下鉄出ですぐ
1階に「やきとり備長扇屋」「オリジン弁当」

郵便物はエントランス側から



- 新館
ワンルーム・タイプ (30㎡)
家賃41,000円+共益費7,000円から
- 本館
3DKタイプ (62㎡)
家賃67,000円+共益費8,000円から
3LDKタイプ (64㎡)
家賃70,000円+共益費8,000円から

3DKタイプ(62㎡)



長居公園



今回は私の地元東住吉区にある長居公園の紹介です。紹介と申しましても大阪市内にある総合公園

の中でもかなり有名な公園なので「今更!？」なんて思われている方もいらっしゃると思いますが、私は大好きなんです。中でも一番のお気に入りの場所が園内にある「長居植物園」と「自然史博物館」です。

植物園には四季折々の草花と大小の池があり、お弁当を広げてのんびりしてみてください。本当に気持ちがいいですよ。

また、自然史博物館へも子供の頃から何度も足を運んできましたが、なぜか飽きません。定番の化石や標本はもちろんですが、年に何度か開催されるイベントが好きなんです。

直近では9月10日～11月27日まで“OSEAN! 海はモンスターがいっぱい”が開催予定されており、今から楽しみです。

と、このように私にとって長居公園は本当に飽きさせない楽しい場所です。

みなさんも久しぶりに足を運んでみられてはいかがでしょうか。(虎)

伝説のアトラクション 復活!

1986年、主演マイケル・ジャクソン、製作総指揮ジョージ・ルーカス、監督フランシス・コッポラにより生み出され、翌年東京ディズニーランドにもオープンした3Dミュージカル・スペースアドベンチャー『キャプテンEO』。

色や音を全く失った暗黒の星へ不時着した“キャプテンEO”と仲間たちが、歌とダンスと彼らの持つ光の力を使って、暗黒の女王とその軍隊を相手に闘いを挑み世界を変えようとする(チェンジ・ザ・ワールド)というストーリー。

1994年にエプコット(ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート)でクローズし、東京ディズニーランドでも1996年9月1日、ファンに惜しまれつつクローズしましたが、2009年6月にマイケルが死去したことで、このアトラクションの復活が決定しました。

今年開園28周年の東京ディズニーランドでも、2010年7月1日から1年間の期間限定で上映されることになり、当時一度しか見ていない私は、「あの頃のマイケルに会いに絶対もう一回見に行く!」と6月中旬に行きました。・・・が、なんと!レギュラーアトラクションとして上映されることになりました。

東京ディズニーランドには年一回は行きますが、『キャプテンEO』はクローズするまでに毎回見ておきたいと思えます。

ディズニーとマイケルの夢のコラボレーションが生んだ映像マジック。当時体験したことがある人も初めての人も、この機会に体験してみたいのではないでしょうか。(ゆず)



「杉の実だより」第50号!

この「杉の実だより」が50号を発行することになるなんて、正直ビックリしています。とにかく何を書けば良いのか悩みに悩んだ1号目。A4一面から始まり、A4裏表、今はA3裏表四面までになりました。

当初はすぐに終わるものと思っていました(笑) 文章を書くことが苦手な私は毎回ネタを探すのに必死でした。初代編集をしてくれていた後輩は、紙面を埋めるのにとっても大変そうでした。

そしてそんな状況を見てきている私に、後輩の退社に伴い編集という大役が回ってきたのでした。2ヶ月に1度発行というペースなのですが、原稿をまとめ、紙面に配置して、足りないスペースには何か考えて埋める・・・そして、印刷・封筒入れ・宛名貼り・封筒糊づけ・発送と編集以外に作業がたくさんあり、いざ自分が中心になってやってみると思う以上に大変でした。一段落したと思ったら、もう次の号の原稿の締切日を発表しなくてはならないのです。

しかし毎回みんなの原稿を見ていると、文章を書くのが上手になっているのがわかりました。原稿を書くのに日常生活の中から常にネタ探しをしている事や、原稿を書くことを楽しんでいと言う事を聞いて嬉しかったことを思い出します。

それから4年後、編集を後輩に譲り、今も原稿を書くことに苦勞しています。もし100号まで続けられたとき、紙面がどう変化しているか楽しみです。(みるて)

